

# SDGs推進にあたって 活用できるサービス、 支援について

- ▶SDGs応援サービス
- ▶サステナブルファイナンス

● 琉球銀行 法人事業部  
前里 卓実

# りゅうぎんのSDGs推進について

- 環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を組み込んだ経営の実践に向け、  
“琉球銀行にとって重要な課題”

“ステークホルダーにとって関心度が高い課題”

以上2つの観点から、取り組むべき12のマテリアリティ（重要課題）を特定し、2つのテーマに分類しております。

- そのうち、「ステークホルダーとの関係において積極的に実現すべきテーマ」では、“地球環境の負荷軽減・再生”の観点から「①気候変動リスクの把握と対策」「②ESGを勘案した投融資活動」等をマテリアリティとしております。

# SDGs推進にあたって活用できるサービス支援

- 「①気候変動リスクの把握と対策」

👉ここがポイント

- SDGs応援サービス

- ① お客様へSDGsの達成に向けた取組状況を見える化
- ② お客様独自のSDGs宣言書策定をサポート
- ③ 宣言内容に応じた取組状況の確認等による伴走支援

- 「②ESGを勘案した投融資活動」

👉ここがポイント

- サステナブルファイナンス

- ① 格付投資情報センター（R&I）より、国際的な原則や国内のガイドラインに整合的であるとの評価を取得
- ② サステナビリティ経営の高度化や持続可能な活動推進によるアピールを通じた社会的な支持の獲得などが期待



# SDGs応援サービス

# SDGs応援サービス

👉ここがポイント

＼ こういったお客さまへオススメ！ ＼

🗨️ SDGsは認識しているが、何かから始めていいのかわからない相談したい

**りゅうぎん SDGs応援サービス 無料版**

- 📄 チェック形式のツールを活用して、お客さまのSDGsに関する取組状況を即時診断し、結果レポートとSDGs宣言書を発行します。
- 📄 SDGs宣言書にて宣言した内容の進捗状況を確認し、SDGs取組について伴走支援を行います。

🗨️🗨️🗨️ 自社の技術やサービスをSDGsに役立てるための提案をしてほしい

**りゅうぎん SDGs応援サービス 有料版**  
110,000円(税込)

- 📄 SDGsへの取組状況を対話にて深掘りし、項目毎に取組状況をフィードバックいたします。
- 📄 フィードバックに基づき、お客さまと宣言書に記載するSDGs達成に向けた取組項目を相談の上、宣言書を作成・交付し当行HPで掲載いたします。
- 📄 SDGs宣言書にて宣言した内容の進捗状況を確認し、SDGs取組について伴走支援を行います。

- SDGs応援サービスでは、2つのメニューを用意しております。
- ①無償版  
チェック形式のツールを活用し、取組状況を即時診断～SDGs宣言書を発行。比較的簡易版となっています。
- ②有償版  
対話を通じて取組状況を深掘りし、SDGs達成に向けた取組項目を相談の上、宣言書を作成～当行HPへ掲載。比較的高度版となっています。

# SDGs応援サービス

📍ここがポイント

## リゆうぎんSDGs応援サービスの流れ



ご注意事項

- 本サービスで使用するチェックシートは東京海上日動火災保険株式会社に開発協力をいただいております。
- 本サービスで使用するチェックシートは三井住友海上火災保険株式会社およびMS&ADインターリスク総研株式会社に開発協力をいただいております。
- 本サービスのご相談は、お近くの琉球銀行の支店にお問い合わせください。

### ①無償版

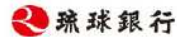
ご相談～宣言書作成まで、**最短1-2週間**で完了します。SDGs取組みのきっかけや足掛かりとして活用することをおすすめします。

### ②有償版

ご相談～宣言書作成まで、約1か月程度で完了します。SDGs取組状況を一つずつヒアリングいたします。SDGs取組みの高度化のために活用することをおすすめします。



# 有償版イメージ



※企業名を記載

御中

2024年8月9日

株式会社琉球銀行

## <琉球銀行SDGs評価サービス> フィードバックシート

貴社のSDGsへの取り組み状況は下記のとおりとなりますので、ご通知いたします。

### 全体概評

- ・全般的にSDGsへの取り組みが遅れており、改善の余地が見られます。
- ・項目別の特徴（概要）>
- ・「人権・労働」「環境」については、基本的な要件は充足していますが、女性活躍、健康経営、資源の有効活用などの取り組みを推進することを推奨いたします。
- ・「公正な事業慣行 組織体制」では積極的な情報開示を推奨いたします。
- ・「製品サービス」「社会貢献 地域貢献」では、環境配慮製品の導入や、地域の資源・人材の積極的な活用を行うことを推奨いたします。

### ◆採点表（No.1-5 カテゴリ別/総合）

カテゴリ	配点①	得点②	得点率②/① (%)	レーティング
1. 人権・労働	10	7	70%	B
2. 環境	3	1	33%	C
3. 公正な事業慣行・組織体制	4	2	50%	C
4. 製品・サービス	4	3	75%	B
5. 社会貢献・地域貢献	4	3	75%	A

### ◆レーダーチャート



### ◆評価/レーティング基準

総合/カテゴリ No.1-4		
評価	レーティング	基準
取組みがすすんでいる	A	80%以上
概ね取組んでいる	B	60%以上
取組みが遅れている	C	60%未満

カテゴリ No.5		
評価	レーティング	基準
取組みがすすんでいる	A	75%以上
概ね取組んでいる	B	50%以上
取組みが遅れている	C	50%未満

※ 本サービスの評価方法（項目分類、レーティング）は、経済産業省等関係機関による「持続可能な開発目標（SDGs）推進に関する取組の促進（評価）」における要件2（SDGsの観点から市場・社会が期待される事業活動の推進（評価基準等））として中心となる項目（項目）に基づき決定されています。  
なお、評価方法等に変更があり、三井住友海上火災保険株式会社からMS&ADセンターに依頼し琉球銀行株式会社より提供開始をいたしております。

# SDGs宣言書

SDGsに向けた取組

**重要テーマ**

地域社会への貢献

環境、デジタル化

人権の尊重

**取組内容**

お客様へのソリューション提供を通じCO2の削減による脱炭素社会の実現！CTインフラの整備、サイバーセキュリティ対策などを推進し、デジタル社会の実現に貢献します。

地域の活動に積極的に参加し社会、経済環境など、多方面から地域の皆様に寄り添い、まちづくりに貢献し、持続可能な地域社会を実現します。

ジェンダー平等、外国人労働者への労働環境の整備、適切な処遇の確保、ハラスメントの撲滅を実現し、職場環境の向上を図ります。

**関連ゴール**

●●●●年●月●日

株式会社○○○○

- ②有償版  
フィードバックシートにて、取組状況のフィードバックを実施。  
宣言書にて、「重要テーマ」と「取組内容」を宣言します。







# サステナブルファイナンス

# サステナブルファイナンス

りゅうぎんのローンから  
沖縄の未来のために  
できること

サステナブル  
ファイナンス  
フレームワーク型

地球の未来のために  
できること

# サステナブルファイナンスとは

- 「持続可能な社会と地球を実現するための金融」と解釈されており、**環境 (E) ・ 社会 (S) ・ ガバナンス (G) 課題の解決**を目指したご融資をいいます。
  - 「グリーンローン、ソーシャルローン、サステナビリティ・リンク・ローン」は**国際的な原則**や**国内のガイドライン**に準拠（適合もしくは整合）する必要があります。
- ➔ 「りゅうぎんサステナブルファイナンス・フレームワーク」が上記の準拠性（整合）をカバーします。

👉ここがポイント

グリーンローン

ソーシャルローン

サステナビリティ・リンク・ローン

ローン市場協会 (LMA) 等

グリーンローン原則

ソーシャルローン原則

サステナビリティ・リンク・ローン原則

環境省

グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン

# サステナブルファイナンス・フレームワーク

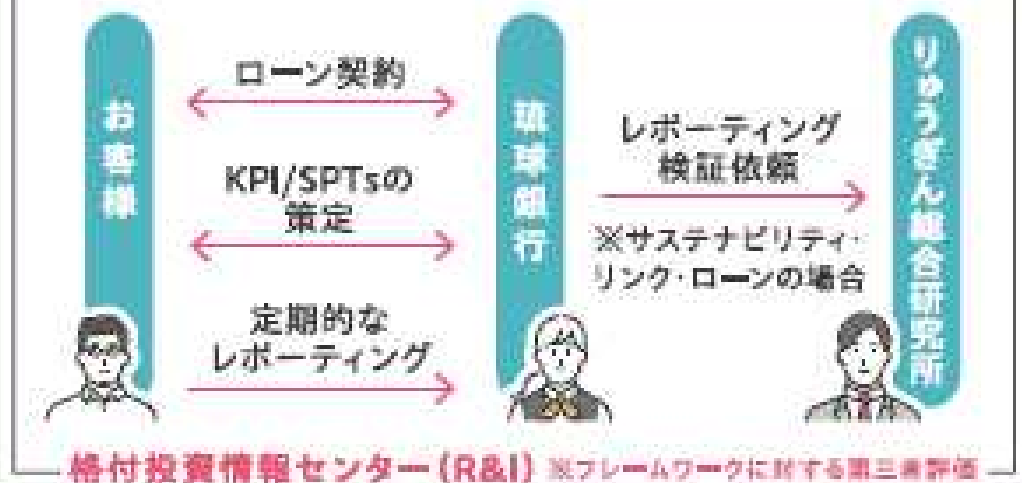
## 💡 ここがポイント!

本フレームワークと本商品は、株式会社格付投資情報センター(R&I)から国際的な原則や国内のガイドラインに整合していると評価されました!

本商品にて資金調達を行ったお客さまは、「サステナビリティ経営の高度化」や「持続可能な活動推進」によるアピールを通じた社会的な支持の獲得などが期待できます。

👉 ここがポイント

### 本商品のスキームイメージ



# サステナブルファイナンス (3商品)

りゅうぎん グリーンローン	りゅうぎん ソーシャルローン	りゅうぎん サステナビリティ・ リンク・ローン
融資金額 3,000万円以上		
<b>対象</b> 環境改善活動	<b>対象</b> 社会課題解決	<b>対象</b> SDGs・ESGの 取り組みの高度化
<b>資金使途 特定型</b> グリーンプロジェクト への事業資金 環境改善効果のある設備など に活用できます!	<b>資金使途 特定型</b> ソーシャルプロジェクト への事業資金 社会課題に解決につながる設 備などに活用できます!	<b>資金使途 不特定型</b> 事業資金 (運転資金、設備資金) 資金使途自由。幅広い資金ニ ーズに活用できます!
<b>例   資金使途</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 再生可能エネルギー (太陽光等)</li><li>● 省エネルギー (LED化等)</li><li>● クリーンな運輸 (電気自動車等) など</li></ul>	<b>例   資金使途</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 基本的インフラ設備 (電気、ガス、水道等)</li><li>● 必要不可欠なサービス (病院、福祉、教育等)</li><li>● 手ごろな価格の住宅 など</li></ul>	<b>例   資金使途</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 目標(KPI/SPTs)の設定</li><li>● KPI(例)<ul style="list-style-type: none"><li>● 温室効果ガス排出の削減</li><li>● 再生可能エネルギーの利用拡大</li><li>● ZEH比率の拡大 など</li></ul></li></ul>

# サステナブルファイナンス（3商品）

## グリーン ローン

- 資金用途特定型
- 明確な環境改善効果をもたらすグリーンプロジェクトへの設備資金
- 融資金額が上記の資金用途に充当されるまでレポーティング※が必須となります（最低1回） ※報告書のようなもの
- 用途例：再エネ、省エネ、クリーン運輸など

## ソーシャル ローン

- 資金用途特定型
- 明確な社会課題解決をもたらすソーシャルプロジェクトへの設備資金
- 融資金額が上記の資金用途に充当されるまでレポーティングが必須となります（最低1回） ※レポーティング=報告書のようなもの
- 用途例：病院、介護・福祉施設、インフラ設備など

## サステナビリティ・リンク・ ローン

- 資金用途非特定型
- 環境・社会の両面から地域課題に対応するKPI（企業目標）を設定し、そのKPIに対応した野心的な数値目標（SPTs）を設定し、SPTsを達成した次年度は金利引き下げのインセンティブを付与します。
- 年1回、目標達成状況のレポーティングが必須、目標達成状況の判定をりゅうぎん総研へ依頼します。

# サステナブルファイナンス（3商品）

## 資金調達までの流れ



## りゅうぎんSDGs応援サービスとは？



お客様のSDGsへの取組状況や、今後取り組まれる現時点の課題等を「診断書ツール」を活用して見える化します。



当行が提供するソリューションにより、個別課題に向けた具体的な取組みをサポート(伴走支援)！

### 宣言書作成支援

サクッと診断！  
無料版



即時診断

0円

もっとサポート！  
有料版



110,000円(税込)

- SDGs応援サービスや今後の取組み計画などを通じたご相談が起点となります。
- 資金調達の目的に合わせた商品をご提案します。
- ご融資自体が環境・社会課題改善につながるかを判定。
- 本ご融資を通じて、自社の取組等を対外的にPR（共同）いたします。

# 活用事例：サステナビリティ・リンク・ローン

## 株式会社屋部土建による「りゅうぎんサステナビリティ・リンク・ローン」第1号案件での資金調達および「うちな〜CO2フリーメニュー」の活用について

2023/10/23



地域とともに、地域のために

株式会社屋部土建  
株式会社琉球銀行  
沖縄電力株式会社



株式会社琉球銀行（取締役頭取 川上 康、以下「琉球銀行」）は、サステナブルファイナンス・フレームワークの対象となる「りゅうぎんサステナビリティ・リンク・ローン」の第1号案件として、株式会社屋部土建（代表取締役社長 仲座 義人、以下「屋部土建」）へご融資を実行いたしました。

屋部土建は、サステナビリティ経営の高度化や持続可能な活動推進を目的として、「再エネ由来または再エネの電力使用割合」の具体的な企業目標数値（KPI/SPTs）を設定しました。琉球銀行は、当該目標を達成した際に、インセンティブ（金利引き下げ）を付与することで、目標達成の動機づけを促し、SDGs・ESGに関する取り組みの高度化を後押しいたします。

また、本ローンの特徴である具体的な企業目標数値（KPI/SPTs）の設定、その達成に向けた取り組みの一つとして、屋部土建は沖縄電力株式会社（代表取締役社長 本永 浩之、以下「沖縄電力」）が提供する「うちな〜CO2フリーメニュー（以下「同メニュー」）」の活用を盛り込んでおります。同メニューは、沖縄県産の資源を活用した非化石証書を用いて電気のCO2排出量を実質ゼロとする電気料金メニューとなっており、本契約により年間約429t（杉の木約5万本分）のCO2排出量削減を見込んでおります。

なお、琉球銀行と沖縄電力は、沖縄県における脱炭素社会の実現および地域社会・環境の持続的な発展に寄与することを目的に2022年6月に「脱炭素社会の実現に向けた包括連携に関する協定」を締結しております。

3社の取り組みにより、沖縄県におけるサステナビリティ経営の高度化や持続可能な活動の推進を図り、脱炭素社会の実現および地域社会・環境の持続的な発展に寄与することを目指してまいります。

- > 「りゅうぎんサステナビリティ・リンク・ローン」の概要
- > 沖縄県産の資源を活用した地産地消型のCO2フリーメニュー（イメージ図）



（左から）沖縄電力 城間執行役員、屋部土建 長山専務取締役、琉球銀行 菊地常務取締役

### 【関連ニュースリリース】

- 「沖縄の資源を活用した再生可能エネルギー電源に由来するCO2フリー価値付きの電気料金メニューの提供開始について」（2021年2月1日）  
> [https://www.okiden.co.jp/shared/pdf/news\\_release/2020/210201.pdf](https://www.okiden.co.jp/shared/pdf/news_release/2020/210201.pdf)
- 「株式会社琉球銀行と沖縄電力株式会社の脱炭素社会の実現に向けた包括連携に関する協定締結について」（2022年6月6日）  
> <https://www.ryugin.co.jp/corporate/news/54313/>  
> [https://www.okiden.co.jp/shared/pdf/news\\_release/2022/220606.pdf](https://www.okiden.co.jp/shared/pdf/news_release/2022/220606.pdf)

# 活用事例：グリーンローン

## 株式会社オキセイ産業による「りゅうぎんグリーンローン」第1号案件での資金調達について

2024/07/19

株式会社琉球銀行



琉球銀行グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

琉球銀行(頭取 島袋 健)は、サステナブルファイナンス・フレームワーク<sup>※</sup>の対象となる、りゅうぎんグリーンローン(以下、「本商品」)の第1号案件として、株式会社オキセイ産業(代表取締役社長 瀬長 司)へご融資を実行いたしました。

オキセイ産業は、「廃棄物にまじめに向き合います。」を理念に掲げ、これまでサステナビリティ経営の高度化や持続可能な社会の実現に向け取り組んできました。今回導入した高度選別機械等の活用により、これまで最終処分場へ送っていた廃棄物を利用して、リサイクル原料(セメント原料)の生産が可能となり、リサイクル率の大幅な向上が期待できます。琉球銀行では、環境課題の解決に貢献する取り組みとして、グリーンローンでのご融資を実行いたしました。

なお、本フレームワークおよび本商品は、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、国際的な原則や国内のガイドラインに整合的であるとの評価を取得しております。本商品にて資金調達を行ったお客さまは、サステナビリティ経営の高度化や持続可能な活動推進によるアピールを通じ、社会的な支持の獲得などが期待できます。

琉球銀行は、策定したフレームワークおよび本商品の推進により、持続可能な地域経済および社会の構築に向け、積極的に取り組んでまいります。

▶ [※「サステナブルファイナンス・フレームワーク」の策定および新商品の取り扱い開始について](#)



(場所：オキセイ産業本社)

左：琉球銀行浦添支店・牧港支店 渡久地支店長、右：オキセイ産業 瀬長社長

# 最後に

- りゅうぎんでは、お客様の環境・社会課題解決に向けた取り組みや持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みについて、今後も積極的に支援いたします。
- 本日は貴重な時間を頂戴し、また、ご清聴頂きありがとうございます。